



# 平成21年度 Heart Art Communication展

**概要**

会場：長崎県美術館 県民ギャラリー(長崎県長崎市出島町2-1)  
 会期：2009年6月24日(水)～28日(日)10:00～18:00  
 主催：Heart Art Communication  
 後援：長崎新聞社  
 協賛：株式会社遊美堂  
 ジャンル：洋画、日本画、水墨画、彫刻、工芸、写真、書道、文藝 等  
 作品数：163点



B



C



D



E



F



G



H



I

- A 長崎県美術館正面
- B 外観
- C 展覧会場入口
- D 美術館エントランスロビー
- E 長崎新聞取材風景
- F 長崎ケーブルTV取材風景
- G 長崎港
- H 展示風景
- I 展示風景



国内外で活躍しているアートコミュニケーション会員  
による恒例の美術展「平成21年度 Heart Art Communication  
展」が平成21年6月、長崎県美術館にて開催されました。

2009年6月24日～28日の間、長崎県美術館 県民ギャラリーにおいて「平成21年度 Heart Art Communication展」が開催されました。本展は、九州地区で初開催であったことと、当協会の伊東順二名誉理事長が長崎県美術館初代館長を務められたこともあり、スタッフや関係者をはじめ、地元メディアや地域の方々の注目を非常に多く集めた展覧会となりました。

会場となった長崎県美術館は、2005年に長崎港に臨む長崎水辺の森公園の一角に新設開館した美術館です。美しい立地環境に恵まれており、美術館は運河を挟んで西側と東側の2つの棟で構成されています。設計は東京・六本木にあるサントリー美術館の設計者としても知られる隈研吾氏で、その外観とデザインは異国情緒溢れる長崎の街に見事に調和しています。今回、本展会場となったギャラリーは西側のギャラリー棟1階にあり、運河に沿って広がる明るい展示室が印象的でした。

開催初日、後援をいただいた長崎新聞や地元メディアの長崎ケーブルテレビなどのマスコミ各社が取材に来場し、会場は華やかな幕開けとなりました。取材の様子は、翌日の新聞紙面やテレビ放送にて紹介され、紙面を見て来場された方も多くいらっしゃいました。来場者は皆、熱心で関心が高い様子で、一つ一つの作品を真剣に見ていく方々ばかりで質問も多く寄せられました。「長崎で全国規模の展覧会が見られて嬉しい」、「個性豊かな秀逸作品に感動した」など歓喜の声を沢山いただきました。また、「影絵」を芸術として浸透させた画家「藤城清治展」が同時開催されていた事もあり、連日多くの来場者で賑わいました。更に会期中には、美術館主催の音楽会「Evening Live」がロビーで催され、その美しい音色は本展会場まで届き、展示室を一層華やかな空気に包み込みました。

こうして、長崎はもちろんのこと、九州で初めての開催だった「Heart Art Communication展」は、地域の方々にも温かく迎えられ大盛況の内に幕を閉じる事ができました。これも一重にアートコミュニケーションの主旨をご理解下さり、人々を魅了して止まない作品を御出展下さった先生方のお陰と厚く御礼申し上げます。今後とも皆様の変わらぬご理解とご協力、そしてご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



▲6月25日付長崎新聞掲載記事

